

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2019年9月調査)

1. 業況判断

9月調査では、製造業、非製造業とも改善したため、全産業では5と前回調査から7ポイント改善した。因みに、前回調査では悪化、水準は▲8を予測していた。

製造業・・・化学、輸送用機械が悪化したものの、電気機械が改善したため、全体では▲4と前回調査から9ポイントの改善となった。前回調査では、水準は▲19を予測していた。

非製造業・・・建設、情報通信が改善したため、全体では13と前回調査から6ポイントの改善となった。前回調査では、水準は2を予測していた。

先行き(2019年12月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では▲3と8ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2019年度(計画)は、製造業は前年度比0.6%の増収、非製造業は同0.7%の増収となり、全産業では同0.7%の増収計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率0.2%)は上方修正されたものの、製造業(修正率▲0.6%)が下方修正されたため、全産業では▲0.2%の下方修正となった。

(2) 経常利益

2019年度(計画)は、製造業は前年度比▲3.5%の減益、非製造業は同▲24.1%の減益となり、全産業では同▲10.3%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.6%)は上方修正されたものの、非製造業(修正率▲8.3%)が下方修正されたため、全産業では▲2.1%の下方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2019年度（計画）は、製造業は前年度比▲29.4%、非製造業は同▲32.3%の減少となり、全産業では同▲30.6%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率6.8%）、非製造業（同3.0%）とも上方修正されたため、全産業では5.2%の上方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業、非製造業とも「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲32と前回調査比拡大。先行き（2019年12月予測）の「不足」超幅はさらに拡大を予測。

以 上